



小堀茂雄教育長(右)にイチゴを寄贈



氷室清教育長(右)にイチゴを寄贈



坂村哲也市長(右)にイチゴを寄贈

## 地元産イチゴ「とちあいか」を寄贈 イチゴ贈呈式

12  
JA



寄贈したイチゴ「とちあいか」

**JA**は1月10日に宇都宮市教育委員会と上三川町教委、18日に下野市教委に、全小学校の児童ら約4万人分のイチゴ「とちあいか」を寄贈しました。JAは地産地消の推進などを目的に、2016年度から毎年イチゴの寄贈を実施しています。

J Aの佐藤俊伸組合長は、「今回の寄贈は、児童の食への関心、食を支える農業の役割を感じてもらうための食育活動の一環。生産者が丹精込めて育てたおいしいイチゴをぜひ食べてほしい」と語りました。

# JJAうつのみやから4人認定 令和5年度栃木県名誉農業士・農業士認定式

**名|誉農業士** 入江 正幸さん (72歳) (宇都宮市)

経営 水稲・麦・大豆

■平成16年度栃木県農業士認定 ■平成23年7月から宇都宮市農業委員会農業委員平成30年2月から河宇地区農業士会会長を務め、地域農業のリーダーとして農業振興に取り組んできた ■宇都宮大学インターンシップに多年にわたり協力し、耕種農業を志向する学生を受け入れ、新規就農者の確保・育成に取り組んできた。 ■耕種専業農家として地域に根差した集落営農の展開を目指して地域内の農業者で営農集団を設立し、平成10年から平成21年までの長きにわたり地域の農地集積、機械の共同利用、共同作業に精力的に取り組んできた ■JAうつのみや耕種受検組合南部支部副支部長、監事などを歴任し、横川地区地域づくり推進協議会で会長を務めるなど、農業分野以外でも地域のリーダーとしての厚い信頼を受けており、地域活性化においても多大な貢献をしている。



**名|誉農業士** 磯川 洋子さん (67歳) (宇都宮市)

経営 いちご・水稻

■平成14年度栃木県女性農業士認定 ■栃木県女性農業士会経営参画部会員や河宇地区農村女性会議理事・副会長を務めるなど、地域の農業分野における女性農業者のリーダーとして男女共同参画の推進に尽力 ■平成30年度には栃木県農業士会及び栃木県女性農業士会合同事業である「とちぎオープンファーム」において農場を設置し、新規就農希望者や消費者の農業・農村の理解促進と新規就農促進にも尽力してきた ■就農以来「夫は耕種、洋子氏はいちご部門の経営責任者」と定め、最も能率的な労働と各自の責任を持ち、農業経営の発展に意欲的に取り組む中、河宇地区農村生活研究グループ協議会の地区役員などを務めながら地域農業の発展に尽くしてきた。



令和5年度栃木県名誉農業士・農業士認定式が1月9日、栃木県公館で行われ、宇都宮市の入江正幸さん、磯川洋子さん、下野市の藤沼秀男さんの3人が名誉農業士に、宇都宮市の相場照久さんが農業士に認定されました。農業士は、地域農業の振興を目指して、新たに農業を始めた人や青年農業者へのアドバイスや支援活動を行うなど、積極的な活動を行っている農業経営者を県知事が認定するものです。

## 名譽農業士 藤沼 秀男さん(67歳) (下野市)

### 経営

#### 米・麦・施設野菜(キュウリ、スナップエンドウ)

■平成13年度栃木県農業士認定 ■23年間の長きにわたり、模範的な農業経営及び農家生活を実践するとともに、下野市の農業振興や青年農業者の育成において指導的役割を果たすなど、大きな功績を残した ■農業経営においては、米麦、施設野菜(キュウリ、スナップエンドウ)を中心とした農業で、特に「キュウリ」については就農当初から栽培しており、小山北桜高校や栃木県農業大学校の生徒をはじめ新規就農希望者の受け入れ、指導をするなど農業後継者の育成や地域農業の振興に積極的に取り組んだ ■農業のプロとしての優れた農業経営実績を積み重ねる傍ら、旧南河内町合併後の下野市の農業行政にも積極的に携わり、数々の委員会、団体等の要職を歴任した。



## 農業士 相場 照久さん(54歳) (宇都宮市)

### 経営

#### 梨

■城山地区を中心に266haで梨専作経営を行う ■①基本に忠実あれ ②一歩ずつ新たな挑戦を ③情報の収集と発信を積極的に—を基本理念とし、家族経営を基本に規模拡大と軽労化を両立。経営の安定化につなげることを目指し、雇用労力を有効活用して人工授粉と適期管理の徹底による高品質・安定生産の梨栽培を展開。早期成園化技術「ジョイント仕立て栽培」を全国に先駆けて本格導入し、地域内では規模拡大と早期多収・省力化を実現した先進経営モデルとして位置づけられている ■令和3年度には栃木県農業大賞(農業経営の部)栃木県知事賞を受賞。令和元年度からは栃木県認証制度「とちぎGAP」の認証を受け、食の安全・環境保全・労働安全に加え、農産物の品質向上に努めている ■JAうつのみや梨専門部では平成30年度に支部長、令和2年度に専門部長を務め、平成29年度にはJAうつのみやと県指導機関との連携により専門部内に「ジョイント研究会」を設立し、代表に就任。導入者間の情報共有、新規就農者の指導など、組織活動において大きく貢献している。



# 「貸出業務強化の取り組み(再編)」について

## 1. 貸出担当者の集約

### 令和6年4月1日(月)より

お客さまの更なるご利用・満足度向上を目指し、貸出担当者の人材育成(戦力化のスピードアップ)により成長戦略の実践(生産性の向上)を図るため、現行の12支所・1出張所に配置している貸出担当者を「金融部資金運用課」に集約し再編します。

なお、配置については、「本所駐在」・「南部支所駐在」の2拠点となります。

現 行	再 編 後	現 行	再 編 後
中央支所		平石支所	<b>資金運用課</b> <b>南部支所駐在</b> 住所 〒321-0113 宇都宮市砂田町526 ☎028-688-7768 (4月~)
宝木出張所	<b>資金運用課</b> <b>本所駐在</b> 住所 〒320-0031 宇都宮市戸祭元町3-10 ☎028-621-8798 (4月~)	南部支所	
城山支所		清原支所	
北部支所		南河内支所	
豊郷支所		上三川支所	
姿川支所			
上河内支所			
河内支所			

※融資のご相談やお申し込み、各種お問い合わせについては、再編後の拠点店舗(本所・南部)へお願ひいたします。

※管轄支所(最寄店・現在のご利用店舗)でもお受けできますが、スムーズな対応のため事前にお電話をいただけますと幸いです。

## 2. 再編後の対応強化に向けた取り組み

- (1) 「農業融資専任担当者」および貸出担当者による「出向く体制」を強化します。
- (2) 農業融資につきましては、営農経済センターの営農相談員等と連携を強化し、「農業所得の増大」に取り組みます。
- (3) 多様化する組合員・地域住民のニーズやウォンツに対応するため人材育成を強化します。

## 3. 再編後のご利用に関するこ

- (1) 現在、ご利用中の融資(証書貸付・手形貸付)の管理店舗は、各支所より本所へ移管となります。なお、返済用口座につきましては変更ございません。
- (2) 融資相談や受付につきましては、アポイントの上、各支所の窓口や組合員宅において対応いたします。また、各支所に設置してあるタブレットを活用し「オンライン面談」を導入し対応いたします。
- (3) 小口ローンにつきましては、利用者様の利便性を考慮し、「JAネットローン」の活用も検討ください。
- (4) 住宅ローンにつきましては、住宅ローンセンターのほか再編後の拠点にての取り扱いも可能です。
- (5) 再編後の貸出担当者の業務分担につきましては、営業・事務等業務ごとの分担ではなく、支所ごとの担当とします。

## 来年度に向けて栽培講習会 JAグリーンアスパラガス専門部

説明を聞く参加者



**JA** グリーンアスパラガス専門部は1月18日、南部農業経済センターで栽培技術講習会を開き、部員やJAの担当者ら23人が参加しました。講習会では（株）サカタのタネの担当者が講師を務め①アスパラガス「ウェルカム」の栽培の基本②新品種「ハイパー・ウェルカム」の特性③環境測定装置「アルスプラウトエア」について説明しました。また、新たな栽培方法として寒冷地から一般暖地の施設栽培において収量や管理の面で成果の期待できる「短期密植栽培」を提案しました。

県河内農業振興事務所の担当者が栽培管理について説明。休眠打破に必要な低温遭遇時間に達したことなどを案内しました。

## 来年産に向け防除暦確認 JA梨専門部

説明を聞く参加者

**JA** 梨専門部は1月23日、栃木県農業共済組合河宇支所で「令和6年産梨専門部防除暦説明会」を開き、部員や県・JAの担当者ら約100人が参加しました。

同専門部の半田仁人生産部長が「新しい病害虫の発生や、花粉が手に入らないなどさまざまな問題を踏まえて今年の防除暦を作させていただいた。この防除暦を基本にしてもらえばありがたい」とあいさつしました。

JAの半田睦夫技術顧問が病害虫防除について説明し、落葉処理や発芽期防除の徹底などを呼び掛けました。また、より効果的な農薬の使用方法などについて説明しました。



## 次年産に向け販売対策強化 JAトマト専門部

目ぞろえをする参加者



**JA** トマト専門部は1月25日、宇都宮市内で「令和5年度トマト専門部通常総会・販売検討会」を開き、部員や関係機関の担当者ら63人が参加しました。通常総会では23年度の活動を報告し、次年度の計画を協議。新たに半田仁一さんが専門部長に任命されました。販売検討会ではJAの担当者が23年産の販売実績を報告。数量3391t（前年比95%）、販売金額10億4千万円（同103%）、販売単価1kgあたり308円（同109%）でした。担当者は販売状況に応じたアイテム対応や出荷数量に応じた契約販売などの具体策を示しました。目ぞろえ会では参加者が出荷規格を確認しました。次年度は販売金額10億5千万円、1kgあたりの平均単価327円を目指します。



新年初せり前式典に参加した  
佐藤組合長(右から7人目)と見形常務(右から6人目)

## 矢板市場で新年初せり前式典を開催 (1月11日)

矢板家畜市場で新年初せり前式典があり、  
JAうつのみやからは佐藤俊伸組合長と  
見形繁常務が参加しました。



イチゴを試食する買い物客



## イチゴ食べ比べで消費PR (1月18日)

JAは宇都宮駅ビル・パセオ  
「えきの市場」内JA農産物直売所で、  
「やっぱり国産農畜産物推進運動  
～みんなのよい食プロジェクト2023～」の  
取り組みとして、JA管内産イチゴ  
「とちあいか」「とちあとめ」の  
食べ比べ試食を実施しました。



## みどり会中央支部が調理ボランティア(1月29日)

JA女性組織みどり会中央支部は、昭和こども食堂で調理ボランティアを行いました。  
参加した本澤陽子支部長は「『ちゃぐりん』に載っているレシピを参考に、  
子どもたちの喜ぶ顔を思い浮かべながらメニューを作成しました」と話しました。



机に並ぶ今回のメニュー

組合員の皆さまからの地域の話題や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。  
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総務課組合員広報係まで。



ユリをPRする生産者



## 生産者が ユリをPR (1月16日)

JA球根切花専門部は宇都宮市役所で、  
OHユリの販促活動を行いました。  
同専門部の須藤智司部長ら専門部員5人が参加し、  
30束分を販売しました。



## JAうつのみやフェアで 管内農産物をPR (1月20、21日)

JAは宇都宮市の  
福田屋百貨店2店舗で  
管内産農産物を特別ブースで  
販売しました。  
また、イチゴ「とちあいか」の  
試食宣伝も行いました。



管内農産物をPRしたJAうつのみやフェア

# 管内インフォメーション

## 市内小中学校に消毒液を寄贈 消毒液贈呈式

**JA** うつのみやとJA共済連栃木は12月14日、子どもたちの感染症対策のため、宇都宮市教育委員会に同市内の市立小中学校94校への消毒液1本（5㍑入り）を寄贈しました。贈呈式には、市教育委員会の小堀茂雄教育長、JAの佐藤俊伸組合長、同共済連の田村登志郎本部長らが出席。佐藤組合長は「集団生活を送る児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう、感染対策として消毒液を役立ててほしい」とあいさつしました。小堀教育長は「現在インフルエンザによる学級休業が続いている、危機感を抱いている。市立小・中学校に通う約4万人の健康と安全を守るために、有効に活用させていただきたい」と感謝を述べました。



宇都宮市役所で行われた贈呈式  
（右から）小堀教育長 佐藤組合長  
田村本部長

## 上三川町に要望伝える

### 上三川町農業に関する施策要望書提出



星野町長（左）  
佐藤会長（右）に要望書を提出する

**宇** 都宮農業協同組合農政対策協議会は12月21日、上三川町役場で「令和6年度上三川町農業に関する施策要望書」を同町の星野光利町長に提出しました。同協議会の佐藤俊伸会長が要望書の内容について、説明と意見を述べました。佐藤会長は、農業者の所得増大を目指し、農業生産基盤の維持・拡大、担い手の確保・育成、農畜産物の消費拡大など、地域農業の一層の振興に向けて①生産資材等高騰対策②担い手支援対策③需要に応じた米生産の取り組み④農畜産物消費拡大対策の4項目を要望しました。特に資材価格の高騰は影響が大きく、農畜産物の安定生産や地域農業の維持に支障をきたしかねないとし、支援が必要と強調しました。



## 集落営農への理解深める 集落営農説明会

**JA** は12月22日、JA本所で職員向けの集落営農説明会を開き、職員の理解を深めました。1月16日には、JA北部営農経済センター、南部営農経済センターで集落営農の周知を目的に組合員向けの集落営農説明会を開き、組合員25人が参加しました。

JAとJA栃木中央会の担当者が管内の集落営農状況や集落営農の基本事項、全国の優良事例について説明し、地域の理解醸成を図りました。また集落営農組織である北部地区の「しのい夢ファーム」、南部地区の「瑞穂野南部集落営農組合」がそれぞれ集落営農設立経緯・組織運営などについて紹介しました。



説明を聞く参加者

## 事業継続計画に沿った行動を

### JA グループ栃木大規模災害統一訓練



JAグループ栃木対策本部緊急会議で  
被害状況を報告する佐藤組合長

**JA** グループ栃木は1月17日、大規模災害統一訓練を実施しました。JAうつのみやにおいても午前10時、震度6強の大地震が県内全域に発生したとの想定のもと訓練を実施。利用者の適切な避難誘導や「安否確認メール」による役職員などの安否確認を行いました。本所では佐藤俊伸組合長を本部長とする災害対策本部を設置。被害状況の把握、災害対策対応の意思決定、関係機関との連絡・調整など有事における役割を確認しました。

JAうつのみやをはじめJAグループ栃木では「大規模災害への対応方針」に基づき2014年に事業継続計画(BCP : business continuity plan)を作成。大規模災害時における事業継続に備えています。



# 水稻



## 種子の準備・消毒

種子粉は100%更新し、10kg当たり乾燥粉で3～3.5kgを目安に

準備します。

種子消毒は必ず行いましょう。消毒済みの種子は殺菌剤の処理のみであるため、殺虫処理をする際は、スミチオン乳剤を加え、10度以上の停滞水で3日間、水を替えずに浸種します。

温湯消毒をする場合は、種子粉を網袋に詰め、温湯消毒器の湯温を60度にし、10分間浸漬します。浸漬後は直ちに冷水で冷却します。温湯消毒後すぐに浸種する場合は、乾燥させずに浸種します。播種まで期間がある場合は、ムレないよう、乾燥させ、清潔な冷暗所に保管しましょう。

未消毒種子を使用する場合は、必ず殺虫・殺虫処理を行い、浸種期間を充分に確保しましょう。

【表1】床土消毒

薬剤名	1箱当たりの使用量
タチガレースM粉剤	6～8g
タチガレースM液剤	500～1,000倍液を0.5ℓ
ダコニール粉剤	15～20g
ダコニール1000	500～1,000倍液を0.5ℓ

播種・出芽

床土の準備

床土は保水力が高く通気性が良いものでpH 5.0～5.5の赤土が山土を使用します。pHの高い土は、苗立枯病、ムレ苗が発生しやすくなります。

床土の施肥は稚苗用細粒555を1箱当たり30g使用し、播種10日前に混和しましょう。

床土消毒は苗立枯病、ムレ苗の発生を防ぐため必ず行いましょう。粒状培土でも消毒は必ず実施してください。(表1)

催芽

催芽温度は28～30度に設定し18～20時間で均一に催芽させ、大部分の粉が芽長1/2程度になっているのを確認してから播種します。

め、油断せずに保温措置をとりましょう。

○栃木県農業試験場の試験結果(R5)

窒素量(kg/10a)	移植日	出穂期	成熟期	精玄米重(kg/10a)
基肥9追肥5	5/23	7/31	9/17	858
基肥12		7/31	9/17	833
基肥9追肥5	6/14	8/17	10/10	770
基肥12		8/17	10/8	712

○栽培ポイント

①過剰な施肥は、熟期の遅れや倒伏につながります。そのため施肥量を調整します。

多収性品種「夢あおば」について

倒伏に強く、移植だけでなく湛水直播種栽培にも適しています。熟期は早生でコシヒカリよりも早いです。耐冷性が弱いため、コシヒカリより後に移植しましょう。縞葉枯病抵抗性を持つため、栽培性に優れています。

ウスに展開後、シルバーラブなどの専用資材で被覆。ハウス内が35度以上になるときは換気を行いましょう。播種後2～3日目に中間灌水を行い、再び被覆して1～2日すると出芽します。電熱育苗器を利用するときは育苗器内を30度に設定し、芽時の芽が1/2になつたらハウスを開します。

## 麦踏み

麦踏み

3月上旬の茎立ち期直前の(幼穂長2cm)の麦踏みは、分けつを良くし、成熟ムラのない倒伏しにくく麦にする効果があります。ほ場の土が、靴に付かない程度に乾いていることを確認してから実施しましょう。



麦踏み

用し、「コストの削減を図りましょう。

②施肥量が多いと、いもち病などの発生リスクが高まるので、適切な防除を実施しましょう。

③粉数が多く茎が太い特性のため、コンバインの負荷が大きくなることがあります。作業速度を落とし、一度に刈り取る量を減らすなどの対策が有効です。

## 雑草防除

雑草防除

雑草は刈取作業の支障になるだけでなく品質低下を招きます。茎立ち期までに防除し、十分な散布水量で雑草の葉がよく漏れるようにします。





## 『青壯年の記』 ～Youth & Middle～

ユース & ミドル

## 城山支部

山支部は、米・梨・トマト・花き・イチゴ・ネギ・畜産など、さまざまな品目の生産者27人で活動を行っています。近年の主な活動は、地区農業祭への参加です。盟友の栽培した農産物の販売、スーパー・ボール・スクリューなどを企画しており、お客様と触れ合う機会となっています。

今後は、地元4Hクラブなどの交流を増やし、地元の農業を支える団体同士の連携を強くとつて、いたらと思います。また、新たな学びや交流の場に積極的に参加し、盟友個人の成長につながる有意義な組織になるように運営してまいります。



スーパー・ボール・スクリュー



姿川地区収穫感謝祭（過去開催）

## 姿川支部

川支部では、地区組織と協力しながら、毎年12月に開催される「姿川地区収穫感謝祭」に参加しています。盟友が栽培した米や農産物の販売をはじめ、フランクフルトの販売や地区の農産物を景品としたbingo大会を開催しています。

ここ数年間自粛されていましたが、今年度は4年ぶりに姿川地区収穫感謝祭が無事開催され、姿川支部の活動に活気が戻ってきました。今後は活動範囲を広げ、姿川支部がさらに地域貢献できるよう活動に努めてまいります。

## 青壯年部全体（本部）

令和5年度は「交流の活性化」をテーマに活動に取り組んできました。「支部交流会」や「学習会」、「JA常勤理事との意見交換会」を開催し、盟友や役職員との交流を深めました。また、関東甲信越地区の「球技大会」や「農協青年組織協議会幹部研修会」に栃木県代表として参加し、県外の農業者との交流を図ることができました。令和6年度もさらに組織活動を活性化させていきたいと思います。



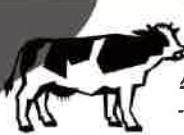
球技大会



幹部研修会



学習会



牛乳をもっと食卓に

## おいしいミルクレシピ

はまぐりと菜の花の鉢蒸し・牛乳甘酒

定番食材でも牛乳で減塩



レシピ●料理家・管理栄養士 小山浩子さん 出典●Jミルク「乳和食サイト」

### 材料(2人分)

#### ●はまぐりと菜の花の鉢蒸し

卵	1個
牛乳	180ml
麺つゆ(3倍濃縮)	小さじ1
菜の花(下ゆでして3cm長さに切る)	50g
はまぐり	8個
酒	大さじ2

#### ●苺の牛乳甘酒

牛乳	180ml
甘酒	100ml
苺	5個

### 作り方

#### ●はまぐりと菜の花の鉢蒸し

- ①ボウルに卵を割り入れてよく溶き、牛乳、めんつゆを合わせる。
- ②はまぐりは殻をこすりあわせてよく洗い、酒蒸しにする。貝を取り出して残った汁はペーパータオルで漉して①に加える。
- ③器に貝と菜の花を入れて①を注ぎ、ラップをかける。
- ④蒸し器(深めの鍋などでも可)に湯を沸かし、③を入れて強火で3~5分間、弱火に変えて10分間蒸す。※器の大きさ、材質により加熱時間は変わります。

#### ●苺の牛乳甘酒

- ①牛乳と甘酒を鍋に加えて温め、フォークでつぶした苺を入れて混ぜる。

## 今月の直売所情報

### JAうつのみや直売所 旬のおすすめ品 トマト

JAうつのみや管内では1年中トマトが栽培されていますが、3~4月は1番糖度が高くなってきて甘味がのってくる時期と言われています。新鮮でおいしいトマトをお求めの際は、ぜひJA直売所で!



### 南河内グリーンセンター 生産者さん 募集中!!

詳しくは上三川営農経済センター  
TEL: 0285-43-6010  
南河内営農課 坂入・大川まで

### JAグリーンインターパーク3/20(水・祝) 春の感謝フェア

お買い得品を取りそろえて皆さまのお越しをお待ちしております。

#### お米すくいイベント実施!!

1,500円以上購入した方が対象。無料でチャレンジ!

### お米の特売日 JAうつのみやおすすめの「みやおとめ(コシヒカリ)」 をお買い得価格にて販売します!!

JAグリーンインターパーク 毎月5日と第3日曜日(3/17)

JAグリーンかみかわち 毎月8の付く日(3/8, 18, 28)

南河内グリーンセンター 第3金土曜(3/15, 16)

# 上三川宮農 経済センター

だより

各支所の活動や地域の情報を届けします!



## 四季折々を感じられる農村公園～磯川緑地公園～

磯川緑地公園は、文字どおり磯川流域に沿って整備された、元来の自然を活かした緑地公園です。

園内には、多種の動植物が生息しており、四季の草花や小鳥のさえずりを楽しめる場所です。また、片道1.4kmの遊歩道があり、ゆっくりと園内の散策をされる方や健康維持のためウォーキングをされる方、夏には涼を求め訪れる方などが多くいらっしゃり、地域の人々に愛され、オアシスのように親しまれています。

春の訪れとともに、エンコウ草の黄色い可憐な花をはじめとして、ツツジ、サツキ、ショウブ、サザンカなどが次々に花開きます。また、中間2か所にあすまやが設置され、のんびりとした雰囲気の中、人々にうるおいとやすらぎを与えてくれるスポットですので、上三川町にお越しの際はぜひお立ち寄りください。



各種お問い合わせはごちらへ

### 支所・センター電話番号

中央支所 028-633-3467	上河内支所	028-674-3333
宝木出張所 028-622-0111	河内支所	028-673-3135
平石支所 028-661-4311	南河内支所	0285-48-2211
南部支所 028-656-1020	上三川支所	0285-55-1510
城山支所 028-652-0711	宇都宮北部農業経済センター	028-665-0550
北部支所 028-605-0003	宇都宮南部農業経済センター	028-656-8484
豊郷支所 028-624-8011	上河内農業経済センター	028-674-2164
清原支所 028-667-0151	上三川農業経済センター	0285-55-1511
姿川支所 028-658-6881	住宅ローンセンター	028-622-7100

■ キャッシュカードの紛失・盗難  
フリーダイヤル 0120-08-2065

■ 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)  
事故受付センター フリーダイヤル 0120-258-931

■ JA葬祭(24時間受付)  
アトラス宇都宮ホール 028-660-5555  
アトラスファミリーホール鶴田 028-633-9200  
アトラス上三川ホール 0285-55-1555

■ LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配達  
フリーコール 0800-700-0085(通話無料)  
※緊急連絡先 028-633-0085